



土佐希望の家通信

<発行>重症心身障害児者施設 土佐希望の家 高知県南国市小籠107 TEL 088(863)2131/FAX 088(863)2133
 http://www.tosakibou.jp Email:info@tosakibou.jp 発行責任者 門田 正坦 編集責任者 小谷 卓

HAPPY LIFE
 家族の窓
 No.29
 福島昌輝様
 通園利用者



こんにちは 福島昌輝です。

福島千代美 (母)

昨年4月から、やまもさんの仲間に入れてもらって、現在週4回通所しています。26才、4人姉の末っ子で、性格は明るく、にぎやかなことが大好き、景色を見ながらのドライブ、階の多いエレベーター、散歩などです。ここ数年は、体調のこともあり、家の中で過ごしています。やまももの皆さんと一緒に過ごすことが唯一の楽しみになっています。昨年の3月に東京から高知へ引っ越して帰ってきました。この6年間は、昌輝にとっても家族にとっても、変化の大きな数年になってしまいました。何とか落ち着いて生活しています。東京では、江東区「まつの実作業所」を経て、東部療育センターの通所へ、週4回の送迎有で通っていました。住んでいた所は便利の良い所でしたが、17年間住んでいたのに、デイズニールランドには3回しか行かず、スカイツリーは下の道路を通るだけになってしまいました。では、何をしていたかという点、小学校時代は「さくらんぼ」という学童保育へ放課後参加したり、スクールバスから降車して直ぐ公園の散歩を1時間以上してから、大型店舗が多かったため、夕食

の食材を買うためにお店へ。そのエレベーターに乗るのが、たまたま最高に笑える」を、くる日もくる日も続け、土日は父と公園を歩く。たまに、家族で千葉方面へドライブに行ったりして過ごしていました。娘、父、昌輝と体調を崩し、昌輝もしんどいので、さぞかし不安な毎日だったと思います。何とか今の生活を送ることができるようになり帰ってこれました。以前は、高知市宝町に住んでいましたが、今は、土佐希望の家の近くで喜んでいます。母だけで、通所まで歩いてみましたが、必死で歩いて1時間近くかかるので、昌輝と一緒に実現するには、かなり難しそうです。

笑えなくなっていたが、笑えるようになり、送りのリフトから降りたくないを訴えるようになりました。また通所日の夜は、ぐっすり眠れることが多くなりました。少人数グループでの外出、遠足はかなり嬉しかったようです。高知の空、空気、食べもの、元気な人々から、たくさんパワーを頂いて、体調をみながら色々なことに参加したいと思っています。これからも、どうぞよろしく願います。

ちよひのしやうご話

リハでは、毎月2回60才以上の利用者様を対象とした取り組み「活き活きパワフルクラブ」を開催しています。最近退職されたOGの方々ボランティアとして取り組みのお手伝いをしてくださっています。OGの皆さんの御好意にも感謝します。

私の仕事(29)



3病棟看護師
 小原多代さん

平成17年7月に入職し9年目に勤務異動になり約2年が経ちました。2病棟とは利用者さんとの信頼関係が難しく、約2年経っていますが利用者さんの伝えたいことが十分に理解できず、他の利用者さんから教えてもらいながら、どうかコンタクトをとることが多々ある毎日です。

利用者さんは同じ環境の中で生活しており、病棟の取り組みや外出はなかなか満足得られない状況もあります。ボランティア外出によつて少しでも利用者さんの生活の質を向上できればと最近では、ボランティア外出にも参加させていたでています。まだまだ、十分に満足がいかない看護や生活面での援助ができていませんが、自分なりに少しでも利用者さんの立場にたつた考えができるように、これからも努力していきたいと思っています。

が、何よりも久しぶりに再会するOGの方々のコミュニケーションを築き上げていく利用者様の笑顔を見ることが、こちらまで笑顔になってしまいます。 医務部 OT安慈摩子
 いつも、ありがとうございます。

利用者の皆様の生活と医療を支えていく私たちの役割がますます大きくなってきています。

在宅の重症心身障害児・者の方への支援も今後さらに重要となります。土佐希望の家では、生活介護事業等に加え、短期入所の事業を実施しています。皆様からのご希望に沿えるように努めています。が、利用ベッド数の関係からご利用の希望日が重なったときや感染症が発生したときなど、やむを得ず、ご利用をお断わりしている状況があります。少しでも皆様のご要望にお応えできるように取り組んでまいります。

昨年は、7月24日にNHK Eテレにおいて「夢の力を信じて」という表題で、また、8月31日には24時間テレビ「愛は地球を救う」において、当施設の取り組みが全国放送されるなど、土佐希望の家の取り組みを、より広く知っていただく機会を得ることができました。

災害発生への備えでは、BCP作成の検討を進めています。また、重症心身障害児・者の皆様が対象とします福祉避難所について南国市と協議を進め、平成27年1月15日に 災害時における福祉避難所の設置運営に関する協定書」を締結いたしました。具体的な取り組み内容は、まだ整理をしていく必要がありますが、

災害時においても当法人・施設は社会的な役割を担うこととなります。

当法人・施設の役割が一層重要となることをしっかり認識し、地道に課題の解消に努め、利用者や保護者の皆様に安心して生活していただけますように取り組んでまいります。

関係者の皆様には本年も引き続き、ご支援、ご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。



【寄付金・寄付物品】

- 岩田英展様 岡本清正様 小林 豊様
- 有限会社福ちゃん出版社様 (株)四国東通様
- 高知競輪報道協会様 高知競輪場内食堂売店組合様 高知競輪馬場内保安労働組合様 (株)テレビ高知様 競輪場内募金箱様 (株)サンコール様 南放セーラー広告(株) 競輪競技実業本部中四国支部様
- 同上 競技部第4競技実施チーム様
- 高知競輪競馬従業員労働組合様 (株)神戸新聞(株)ニッポウ(株)四国本部様 (株)高知広告センター様 日本競輪選手会高知支部様 サテライト南国内募金箱様 高知市公営事業課職員一同様 大篠地区社会福祉協議会様 北村忠司様 南国市民クスニス実行委員会様 高知友の会様 久富久貴様 南国市商工会女性部様 田村光昭様

ありがとうございました。
 今後ともよろしく願います

平成二十七年 新年のごあいさつ



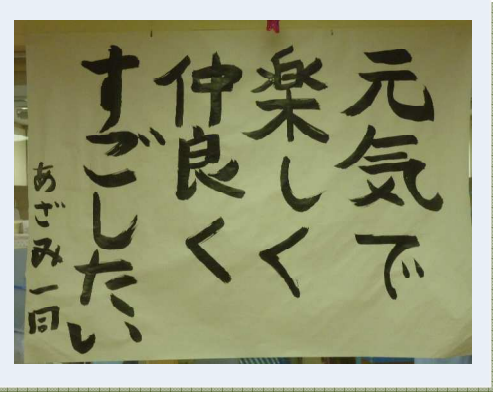
社会福祉法人 土佐希望の家
 理事長 門田正坦

新年あけましておめでとうございます。

昨年の日本経済は、先行きの不透明な1年だったのではないかと思います。その中で、消費税の再引き上げ時期の延期など景気に配慮した方針が示されました。財源の確保の面からみますと、社会保障施策への影響も生じ、医療・福祉について、将来を見通すのは難しい状況が続くのではないかと考えています。

当法人・施設の運営につきましては、比較的、安定した取り組みができています。一方、取り組みなければならない課題として、医師の確保、人材育成、施設の老朽化・狭隘化への対応、BCP(事業継続計画)の作成や防災計画の見直し等の災害への対応など数多くあります。また、将来の見通しが不確実な状況ですが、当法人・施設の在り方についても、引き続き検討していく必要があります。

施設の利用者の皆様等の状況につきまして、利用者様ご本人の高齢化や障害の重症化、また、保護者の方の高齢化が進んでおり、



(平成27年1月 3病棟東 新年の抱負)



お知らせ

※大久保季様、宗圓七様の成人式、3月22日、2病棟すみれホールにて、14時から行なわれます。皆様のご出席をこのよりお待ちしております。



(平成27年1月11日通園成人式)

ぼくたち、大人の第一歩を踏み出しました。これからもよろしくお願いします。

祝・成人

成人おめでとうございます。

通園利用者様

- 江崎 貴晃 様
- 高橋 宏貴 様
- 中川 薫 様

入所利用者様

- 大久保 季 様
- 宗圓 七 様



通園秋の遠足

10月29日 水、やまももの利用者様はあぐり窪川方面に遠足にいきました。美味しいものを食べたり、買ったり、散策したり、楽しんでもらいたいと企画しました。今回は16家族、42名の参加でした。

まず、あぐり窪川の駐車場に11時に集合して、食事場所や休憩所の説明をして、記念写真を撮りました。その後は自由行動。あぐり窪川ですぐに昼食をとったり、休憩所でゆっくり休む人、ゆういんぐ四万十まで歩き、美味しいものを買った人もいました。13時5分からは、お土産ツアーとして水車亭に芋ケンを買いに行きました。解散前には、ジャンケン大会で大盛り上がり、勝者3名の方には、鍋焼きラーメン・豚まん・生姜に恋して」という品物が渡されました。少し遠い場所でしたが、天候にも恵まれ窪川を楽しむことができました。担当 大坪真紀



1泊旅行

(1病棟)

9月25日、26日。古宮守さん、梅原良隆さん、岡本美紀さん、沢村多枝子さんの4名で桂浜荘に行ってきました。

青く大きな、心が晴れる太平洋を眺めながら宇佐方面をドライブ、車内ではご家族のみなさんの昔ばなしに花を咲かせ、和やかに到着しました。オーシャンビューのすばらしいお部屋、大浴場を満喫。夕食は海の幸、山の幸をお腹一杯堪能しました。夜空を眺めながら、職員さんと二人で散歩された利用者さんは、楽しい大切な思い出ができたのではないのでしょうか。桂浜荘の方々はとても親切で、さらに楽しい一泊旅行になりました。担当 十河健



柗煌山関
笑顔で来園

9月29日、柗煌山関が2回目の訪問。大きなからだで、いっぱいのお笑顔で、みんなに元気をくれました。ありがとうございます。

第36回 希望の家祭

(10月12日)

今年の希望の家祭は、お天気に恵まれず室内での開催となりました。その分、利用者さんの移動に時間がかからずコンパクトな形で楽しめました。ステージは初めての通園ホールでしたが、大変な賑わいで楽しさ満杯でした。分校の生徒さんのサンバ、1病棟の妖怪体操、2病棟の歌とダンス、3病棟のフォークダンスと、アナと雪の女王」、利用者さんの熱演で大盛況でした。

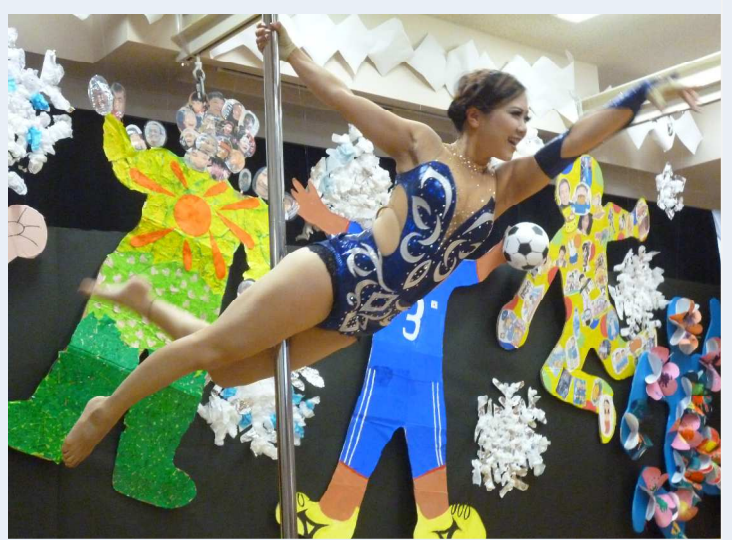


3病棟西・フォークダンス

した。保護者の皆様、学校の先生、OB、ボランティアの皆様、ご協力ありがとうございました。各担当の職員の皆様、お疲れ様でした。実行委員長 小松佑輔



インドムードの喫茶コーナー



はじめてのポールダンスに、みんなワクワク



(12月22日 美術館ホール)

東日本大震災後の支援を続ける、NPO法人なとわのコンサートに、希望の家からも参加しました。

「夢を叶えるハッスル神社」

- 第4回 当選者 (12月24日)
- 2病棟 ○松井文子さん
「くるまに乗ってお花見に行きたい」
○片山正子さん
「好きな物を、た〜くさん食べたい」
 - 3病棟 ○土岐光宏さん
「おいしいラーメンを食べたい!!」

当選、おめでとうございます